

太美地区に 待望の認定こども園！



園長 五十嵐 京湖 さん

町立ふとみ保育所の運営を任されてきた社会福祉法人高陽福祉会が、平成31年4月に、幼稚園と保育園の機能を兼ね備えた「認定こども園 おとぎのくに」を開園し、待望の認定こども園が太美地区にできました。今回は、平成23年から園長として幼児教育に関わり活躍する、五十嵐園長にお話を聞きました。

りました。それが、認定こども園になったことで、同じ園の中で保育所から幼稚園に移行するだけで、子どもが慣れ親しんだ園に在籍していただけるのが一番のメリットです。そして、受け入れの幅が広がり、1歳半から親子で楽しく参加できる「ピッコリーノキッズ」の会員の募集も始まりました。これは、本町地区にある「認定こども園 当別夢の国幼稚園」でも好評の取り組みで、毎月1回の開催に無料で参加でき、入園前から少しずつ集団生活に慣れ親しむことができます。ご興味のある方は「おとぎのくに」へお問合せください。

地域に支えられた教育

園の 良いところは、広い園庭で子どもたちをのびのびと遊ばせてあげられることです。そして、以前から変わりませんが、園と地域との結びつきがとて深く、いろいろな場面で地域の方の力をお借りしています。園には畑があり、毎年野菜を育てています。保護者がトラクターをもってきて畑を耕してくれたり、子どもたちが野菜を植えると、育て方を教えてくれるなど地域に支えられています。他にも、「田植え・稲刈り体験」は地域の方に田んぼを貸していただいたり、「焼き芋会」で燃やす麦乾（小麦殻をロール状にまるめたもの）を提供してもらったりしています。

大切にしている教育

物事 を単に教えるのではなく、たくさんの体験を通して、子どもたちが感じる気づきを大切にしています。例えば「乗馬体験」では、生きた動物と触れ合うことができます。実際に馬に乗ってみて、「馬の背中は温かい、ゴツゴツしていた」「馬の足跡はどうなっていた」と気づくことが、感性や創造力を身につけることにつながると考えています。

認定こども園に移行して

教育 の考え方や目標は大きくは変わりませんが、ふとみ保育所のころ、共働きではなくなった時には、どうしても退所しなくてはならない事があ

.....
おとぎのくにを訪れたこの日は、年長さんが乾いたぞうきんを手に「ぞうきんがけレース」をしていました。6月の運動会に向けて、遊びを通して体力づくりをしているようで、子どもたちの楽しそうな声が響いていました。

(4月10日取材)